

授業づくり研究会開催のご案内

研究会代表 安永 悟
(久留米大学文学部)

年の瀬を迎えて急に寒くなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、12月12日（土）に予定しています「授業づくり研究会」の内容が決まりましたので、ご案内いたします。多くの皆さまの参加をお待ちしています。

参加を希望される方、安永研究室のホームページから、参加申込をお願いします。むろん、これまで同様、当日参加も受け付けます。案内が直接届いていない方も大歓迎です。皆様とお目にかかれることを楽しみにしています。

研究会の後、懇親会を予定しています。こちらは準備の都合がありますので、参加希望の方は、期日までに必ず連絡をお願いします。

記

1. 日時：2015年12月12日（土） 13時～17時まで
2. 場所：久留米大学御井キャンパス 学生会館ミーティング＝ルーム3
3. 参加資格：協同教育(学習)に関心のある方
4. 参加申込：安永研究室のHP (<http://yasunaga.me/wiki.cgi>) からお願いします。
(注意) HPからの申込に対しては自動返信になっています。万一、返信が届かなかった場合は、下記「問い合わせ先」までご連絡ください。
5. 研究会の内容
 - (1) 挨拶・導入（担当：安永 悟・久留米大学）（45分程度）
 - a. 研究会への導入と、簡単なグループづくりを行います。
 - b. 協同学習の基本的な考え方と技法についても紹介します。
 - (2) 報告「協同教育が求める協同の認識－協同認識尺度の開発－」（70分程度）
 - a. 報告者：増井沙奈江・安永 悟（久留米大学）
 - b. 内 容：協同教育の基盤であり目的でもある「協同」について、多様な認識が存在しています。協同の認識を測定する試みとして長濱ら(2009)が協同作業認識尺度を開発していますが、この尺度で捉えられる協同認識は、その一部でしかありません。例えば、和やかであたたかく、ややもすれと馴れ合いにもつながるようなイメージとして捉えられる協同と、相互の信頼関係に基

づく切磋琢磨のような厳しさを含むイメージとして捉えられる協同を区別することができます。このような視点から、本研究では、協同学習の理論に基づき協同の認識をより詳細に把握できる尺度の作成について報告します。

(3) 研修「学習評価のためのルーブリック作成（体験）」（90分程度）

- a. 講師：木村美奈子 先生（九州女子大学）
- b. 内容：教育現場で求められている「学習評価」。その中で、最近、よく耳にする「ルーブリック」とは、そもそもどんなものであるか概要を説明し、実際に、例示する評価対象物に対してルーブリックを作成し、ルーブリック評価のプロセスを体験していただきます。

(注意) それぞれの報告内容は、準備の過程で多少変更になることもあります。
予めご了承ください。

6. 懇親会のお知らせ

研究会終了後、下記のように懇親会を開催します。参加希望者は上記「4. 参加申込」と合わせて、12月9日（水）までに、安永研究室のHPから申し込んでください。

会場：上海夢飯店（久留米市東町495-1 T-W-inStateビル1階）

会費：3,500円（税込み）

コース：食べ放題コース（飲み放題付）

URL：<http://tabelog.com/fukuoka/A4008/A400801/40018009/>

(注意) 直前の取り消しは大変困ります。参加されなくても参加費を徴収すること
がありますので、予めご了承ください。

7. 問い合わせ先

ご不明な点があれば、次までお願いします。

安永悟 yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp

以上